

ユネスコ

2020.4
vol. 1168



青年全国大会に集った若者たち

CONTENTS

- 1 By youth, With youth, For youth
若者のSDGs達成に向けて
- 4 TOPICS
 - 被災地の子どもたちの進学を支える
 - 時代に合わせて学校はどう変わるのか
文部科学省 大臣官房総括審議官 串田 俊巳氏 講演
 - 韓国 UNESCO 加盟 70 周年記念国際会議レポート
- 7 ユネスコ活動の広場
- 8 活動報告
 - アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム
 - 「プロジェクト未来遺産2019」決定
 - 理事会・評議員会報告
 - 世界寺子屋運動
 - 新規加入維持会員のご紹介
- 10 月1・いいことプログラム
- 11 お知らせ・募集

若者のSDGs達成に向けて

地球の破綻を1970年代から訴えてきたシンクタンク「ローマ・クラブ」。1972年に発表した書籍『成長の限界』は、地球の持続不可能性を広く訴え、世界に衝撃を与えた。1979年の『限界なき学習』では、持続可能な社会をつくるため、世界的スケールでの学習を提唱し、学校内外での青少年の学習、全世界の大学生の活躍に期待するとした。

40年後の2018年。国連は、世界18億人の若者が持つ持続可能性へのアイデアを行動に移す「ユース2030」計画を表明した。日本の青年、とくにユネスコ活動を続ける青年には大きな期待が寄せられる。本号の特集では「若者のSDGs達成に向けて」と題して、青年の活動を見つめてみたい。

きょういくで、あしたへいく。

By youth, With youth,



九州地区の青年会員が連携した九州
ユネスコリーダーシップセミナー



SDGsってなに？

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。貧困や飢餓、教育、ジェンダー、環境、気候変動など、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット。各国政府だけでなく、企業やNGO、市民社会、そして世界中の人びとが一体となって取り組む必要がある。日本ユネスコ協会連盟では、目標4「質の高い教育を皆に」を重点ゴールとして、「教育を通じたESDの推進＝平和な世界への貢献」を目指している。

若者のSDGs達成に向けて

いま求められるのは、若者の参画

世界の若者(10～24歳)人口は史上最多の18億人となりました。社会において若者の存在感や貢献度が高まる一方、若者の90%近くは開発途上国や紛争地域に暮らしており、命の危険や人権侵害にさらされる若者も多数存在しています。こうした現状を受け、国連は2018年に国際ユース戦略「ユース2030」(YOUTH 2030 Working with and for young people)を発表しました。これは「若者のアイデアをアクションに移す」ことへの支援表明。持続可能な開発目標(SDGs)においても、若者の力が不可欠であると明言しています。

UNESCOでも、「UNESCOユース戦略2014-2021(UNESCO Operational Strategy on Youth 2014-2021)」のなかで、若者は平和構築、社会的課題の解決のためのパートナーであり主体であると位置づけています。

いま世界では、社会課題の解決に「若者の参画」がひとつのキーワードとなっています。

少子化が進む日本で若者が活躍する「場」をつくる

史上最多となった世界の若者人口とは対照的に、日本では少子化が進み、若者の人口は現在約1763万人(総務省発表2019年7月現在)。20年前の約2331万人からおおよそ25%減少しています。

日本の若者一人ひとりが担う役割は大きくなり、社会への参画がこれまで以上に求められています。これからの日本を築く世代に対して、参画の機会を創出し、力を発揮できるようにバックアップすることは、ユネスコ活動においても重点的に取り組むべき課題です。

若者はSDGsの大きな推進力

「誰ひとり取り残さない」をスローガンに掲げ、貧困や格差、地球温暖化などの世界的な課題を解決するための大きな目標であるSDGsも、若者の参画なしには実現できません。「ユース2030」では「若者と関わり合い、連携し、その権利を求め

For youth



で立ち上がる若者を支援し、若者が進歩を遂げて積極的な役割を果たせる条件を整備しない限り、国際社会はすべての人の平和、安全、正義、気候に対するレジリエンスおよび持続可能な開発を達成できない」とし、国連が若者の参画を支援することを表明しています。

民間ユネスコ運動を担う若者たちはいま

全国のユネスコ協会・クラブの会員の総数は1万5157人で、その中で登録されている青年会員（18～35歳）は648人（2019年12月現在）、会員総数のわずか4.3%です。この数字だけを見ると、民間ユネスコ運動を担う若い人材は、相対的に少ないといわざるをえません。

実際に、学生時代にユネスコ活動に関わりを持つ機会を得ても、高校・大学進学、就職、結婚などを機に居住の移動を余儀なくされ、それと同時にユネスコ活動から離れてしまうケースも少なくありません。

こうした状況でも、全国の約20の協会・クラブに青年部があり、それぞれの青年部が、地域の課題解決やSDGs達成のために何ができるかを考え、地道に行動しています。その青年部の活動で最も多く行われているのが、子ども向けの野外活動（キャンプ）です。

若者の主体的な活動を下支え

仙台ユネスコ協会青年部では、5年前から「宮城子どもキャンプ」を毎夏開催。きっかけは2011年、東日本大震災で被災した子どもたちを対象に宮城で行われた「東日本大震災ユネスコ子どもキャンプ」です。そこにボランティアとして参加した仙台ユ協の青年たちを中心に、いつか宮城でもう一度キャンプをという思いで始まりました。企画準備から当日の運営までを青年部が行い、大人の協会員は教育委員会への依頼や保護者との連絡調整、財源確保を支援します。また、キャンプ期間中に防火管理者、看護師、指導者としてともに宿泊します。青年部の活動をサポートしている内藤恵子副会長は、「大人が前面に立つことをせず、青年部が企画・運営するこのキャンプは、青年たちの成長が図られる場。子どもと青年双方に学びのある場と捉えています。ともすると、手出し、口出しをしたくなる大人の気持ちを抑え、青年部の主体的な活動を下支えする立ち位置であることを心がけています。最近大切とされている、自己肯定感、充実感を、参加した子ども・青年が持つ…実現できていると思います！」と語っています。



若者のSDGs推進をバックアップ



学校でのSDGs達成への取り組みを支援 SDGsアシストプロジェクト

ユネスコスクール登録校のSDGs達成に向けたESDの実践に対して助成を行っています。今年度で11回目を迎え、10年間で全国のべ910校を支援。ESDを実践する上で必要な教材の購入資金などを助成し、学校でのESDの取り組みを応援します。

協力：株式会社三菱UFJ銀行
後援：日本ユネスコ国内委員会



東日本大震災の教訓を教育に生かす アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

企業・専門家やNPO、東日本大震災の被災地の教育機関と連携し、減災教育を通して児童・生徒に「持続可能な社会の創り手」に必要な資質・能力を育む学校の取り組みを支援しています。毎年応募の中から20～35校に助成するとともに、被災地で学ぶ教員研修の機会などを提供。助成校は、研修での学びを活かし、地域と学校が連携して児童・生徒の防災力を育んでいます。

協力：アクサ生命保険株式会社
後援：文部科学省



世界の課題を「自分ごと」に 高校生カンボジアスタディツアー

国際協力の現場であるカンボジアの寺子屋や世界遺産の視察、現地に暮らす人びととの交流などを通して、若い世代による国際協力・国際理解を推進しています。高校生対象。

共催：公益財団法人かめのり財団



組織を超えたネットワーク

また、最近の若者の取り組みで特徴的なのは、地域を超えたネットワークです。ユネスコ活動でいえば、全国的青年連絡組織*が主催する青年全国大会やSNSを通して知り合った青年会員、高校生が、有機的なネットワークをいくつも構築しています。

ネットワークによる取り組みのひとつに、**九州ユネスコリーダーシップセミナー**があります。九州地区の複数のユネスコ協会の青年会員が、連携して実行委員会を結成。大分、熊本の大学生を対象に1泊2日のセミナーを実施しています。セミナーをきっかけにして、ユネスコ協会の会員として活躍する大学生が生まれています。そして、このセミナーでも大人のサポート役は欠かせません。プログラムの中で講師を務める日本文理大学・人間力育成センター長の高見大介氏は、「青年に必要とされる、意味ある他者になるという姿勢でセミナーに臨んでいます。世代が違って、学歴が違って、職歴が違って、常に互いに学びあうという姿勢が重要と考えています。若者は学業や仕事に追われていますが、パラレルキャリア（本業とは別の活動を平行して行うこと）の重要性も説き、どんなに忙しくても、戻れる場所としてユネスコ活動があるということを伝えたいです」と語ります。活動の持続可能性や質を高めること、運動の担い手育成といった観点からも、若者の活動への大人の側面的なサポートは必要です。

若者の活動から学ぶべきこと、今後への期待

今年の1月12日(日)・13日(月)に岐阜で行われた**青年全国大会**には、16協会45名の青年会員が参加しました。特徴的だったのは、プログラムが単なる講義や質疑応答ではなく、小グループでのディスカッションやワークショップの形式で占められていたことです。組織や地域の課題、ESDやSDGsをどのように捉え、活動に活かしていくかなどについて、参加者同士で議論を深めていきました。発言が誰か一人に集中することなく、誰もが自然に発言できる場となっていて、これは大人が大いに学ばなければならない点ではないでしょうか。

学習指導要領には、2020年度からSDGsに関する内容がさらに盛り込まれます。また、ユネスコスクールの登録が優に1000を超え、これからの運動を担う若者を取り込むチャンスも増えています。民間ユネスコ運動の使命として、SDGsに貢献する若者を輩出するために、若者を対象にしたさまざまな取り組みの実践が求められています。同時に、民間ユネスコ運動で活躍する若者をさらに増やし、サポートをするのも、民間ユネスコ運動の持続的発展のために不可欠なのです。

(事業部：尼子 美博)

※全国的青年連絡組織 ユネスコ協会・クラブに所属する青年会員（15歳以上35歳未満）で組織され、青年ネットワークを維持、強化し、青年の意見を集約、民間ユネスコ運動の促進をはかるために活動している。



▲中国、四国、九州の青年によって企画運営されている高校生対象の「ユネスコみらいミーティング」



▲のびのびと議論が深まった今年の青年全国大会

ユネスコ協会の青少年活動をサポート

青少年ユネスコ活動助成

各地ユネスコ協会から、優れた地域活動、とくに「70周年ビジョン・ミッション」を具現化した青少年向けの新規事業を優先して公募し、助成しています。対象分野は以下の通り。

- ※分野 1 青少年へのユネスコ普及活動事業
- ※分野 2 ユネスコ協会に所属する青年会員が中心となって行う社会的課題の解決等に資する事業
- ※分野 3 ユネスコスクールや学校内ユネスコ活動とユネスコ協会の連携強化に資する事業

申込締切：4月19日(日)

※申し込み方法は、当連盟ホームページをご覧ください。 <https://www.unesco.or.jp/local/>

これまでに支援した奨学生

4899人

(2020年3月時点)

ユネスコ協会就学支援奨学金の奨学生：3413人

MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金の奨学生：1486人

TOPICS



ユネスコ協会就学支援奨学金の奨学生

東北の子どもたちのための 2つの奨学金

日本ユネスコ協会連盟では、東日本大震災教育復興支援として、2つの奨学金事業を継続しています。

●ユネスコ協会就学支援奨学金

震災によって経済状況が悪化したご家庭を対象とする、返済義務のない給付型の奨学金プログラムです。全国の企業・団体・個人の方々からの募金により実施しています。奨学金は、中学3年から高校2年までの3年間、奨学生一人ひとりのご家庭に直接お送りしています。2019年度は岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市、石巻市で新規奨学生の募集を行いました。

●MUFG・ユネスコ協会

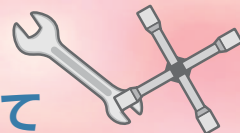
東日本大震災復興育英基金

三菱UFJフィナンシャルグループと協働して創設。震災で保護者を亡くした小学校から高等学校までの児童、生徒を対象とした給付型の奨学金プログラムです。

(企画部：小崎 好美、事業部：仁藤 里香)



ユネスコ協会就学支援奨学金 整備士の夢に向かって



岩手県上閉伊郡大槌町に住むAさんは、震災当時小学校1年生でした。3月11日は日直で、「さよならをいった瞬間にゴーストとなって、全校生徒で校庭の真ん中に集合して、地面が割れたりして怖かったのを覚えています。でも先生が落ち着かせてくれて、裏の城山に皆で急いで登って、上から町を見ていました。泣いている人もいました」と、当時のことを語ってくれました。

そんなAさんはいま、機械科のある高校に通っています。理由は、自分の夢に近づく資格が取れるからだそう。「僕の夢は、電車や飛行機の整備士になること。小さいころから車などの乗りものが好きで、とくにその構造に興味があります。それで、整備士に必要な機械加工技能士の資格が取れると知って機械科に入りました」と、すでに授業で始まっている溶接実習が楽しいと教えてくれました。いきいきと自分の夢に向かって学んでいます。

MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金 志望校に合格しました！

震災当時小学4年生だった岩手県の奨学生からは、うれしいお便りが届きましたので紹介させていただきます。

「多大な支援に助けられ、お陰さまで福島大学に進学しました。友人が推薦で合格していくなか、焦りを感じながらも一般入試を受ける友人たちと一緒に勉強をしたり励まし合ったり、一日一日を大切に過ごしてきました。第一関門のセンター試験は集中して受けることができ、いままでの模擬試験よりも高い点数を取ることができました。(中略) 合格できたのは、学資面を心配することなく勉学に励むことができたからです。本当にありがとうございました」



4月から中学生です！

柔道の新人大会で3位に入賞しました



ユネスコ協会就学支援奨学金 《募金のお願い》

「ユネスコ協会就学支援奨学金」では、皆さまからの募金によって、返還不要の奨学金を給付しています。これまで多くの方にご支援いただきましたことに感謝申し上げます。子どもたちの明日のために、引き続きご協力をお願いいたします。

【専用募金口座】

振込先：三菱UFJ銀行 神田支店

口座番号：(普) 0297275

口座名義：シヤ)ニホンユネスコキヨウカイレンメイ

※領収書が必要な方は日本ユネスコ協会連盟・総務部までご連絡ください。

時代に合わせて 学校はどう変わるのか

文部科学省 大臣官房総括審議官
串田 俊巳氏 講演



1月18日(土)に開催した評議員会で、大臣官房総括審議官の串田俊巳氏による「学校をめぐる最新のトピック」と題した講演が行われました。

串田氏は、文部科学省において、教育、文化分野をはじめ幅広い業務に従事され、世界遺産登録の際に文化庁職員として携わるなど、ユネスコとの関係も浅くありません。豊富な知識と経験に基づいた講演内容の概要を一部紹介します。

* * *

「何ができるようになるか」を見据えた教育課程

この春から小学校では新しい学習指導要領が本格実施される。今回の改訂では「何を学ぶか」に加え、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の3つの要素を盛り込んでいるのが大きな特徴だ。「何ができるようになるか」では新しい時代に必要となる資質・能力の育成などがあり、「どのように学ぶか」ではアクティブ・ラーニングという新しい視点を盛り込んでいる。

小学校の英語教育が「教科」に

これまでの小学校の英語教育は5、6年生に対する「外国語活動」として行われてきた。2020年度からは、小学校3、4年生で「外国語活動」の授業、5、6年生では教科としての外国語が始まる。教科になることで、検定を通った教科書を使い、評価が入るようになる。外国語教育を抜本的に強化するのが狙いだ。

ICT環境整備に2300億円の補正予算

現在、全国の小・中学校のパソコン端末は、一番進んでいる佐賀県で1台につき1.8人、一番遅れている愛知県では1台につき7.9人で使われている。この地域間の格差を解消しようと、「GIGA (Global Innovation Gateway for All) スクール構想」のもと、学校のICT環境整備が進められ約2300億円が投じられることになった。多額の予算をかけて一気にやっていこうということだ。ICT化によって、個々に合わせた学びも可能となるが、それにはデジタル教科書などのソフト面の構築も急務だ。

課題は指導体制

英語教育、ICT化いずれにも共通する課題が、教えらる先生がいるのか、ということ。教員研修、外部の専門家

を入れることも検討している。英語に関しては専科教員を入れてもいいのではないかという意見がある。ICT化については、学年を超えた学びについての議論も始まっている。

地域と学校との連携

2017年に地方教育行政法（地方教育行政の組織及び運営に関する法律）により「学校運営協議会を置くように努めなければならない」とされた。第3期教育振興基本計画（2018～2022年度）の目標としても、学校運営協議会制度の導入と地域学校協働活動の推進が謳われている。このように体制的にもしっかりと位置づけができていく制度で、地域住民、保護者と一緒に学校運営を協議していく取り組みだ。

学校運営協議会を設置している学校数は、法律改正の影響もありここ数年で大きく増加しており（2017年3600校、2018年5432校、2019年7601校）、今後ますます存在感が大きくなるだろう。

Q&A

日ごろ民間の立場や現場で教育に携わる私たちとは違った視点での講演に、会場からは複数の評議員から質問があった。

Q 「これまで学校現場においてESDの認知度が低かったが、新しい学習指導要領により広まるのか」

A 「ESDは学習指導要領の総則に明記されており、その精神を各教科、各教科書、各現場、指導する先生にどのように浸透させるかという段階にある」

Q 「日本在住外国人に対する国としての日本語教育の取り組みは確立されているのか」

A 「外国籍の子どもはとて増えており、地域による差がかなりある。日本語教育は文化庁国語課が中心になって取り組んでいるが、新設した初等中等教育局情報教育・外国語教育課と連携し、包摂しながらしっかり進めていく」

Q 「学校運営協議会にユネスコ協会会員が参加するにはどうすればよいか」

A 「個別の学校に行くのではなく、教育委員会と相談しながら進めるのがよいだろう」

韓国 UNESCO 加盟 70 周年記念国際会議に出席して

日本ユネスコ協会連盟顧問 野口 昇

昨年12月初め、私は韓国政府から特別招待され、韓国 UNESCO 加盟 70 周年を記念した「韓国－ユネスコ平和フォーラム」に出席した。この会議は、韓国外務省と韓国ユネスコ国内委員会の共催により開催された。会議中、UNESCO には特別の恩義があると多くの韓国指導者が強調したのは印象深いことであった。1950 年の UNESCO 加盟からわずか 10 日あまりの後、北朝鮮がいきなり 38 度線を越えて攻め込んだ。朝鮮戦争の勃発である。約 3 年続いた戦乱で朝鮮半島は荒廃。焦土と化した韓国に多くの支援が寄せられたが、UNESCO は教科書の印刷のために多大の支援を行った。年間 3 千万冊もの教科書が UNESCO 支援によって作成され全国に配布された。この時期のすべての子どもたちは、「UNESCO 支援によって作成された」と奥付された教科書で勉強を続けた。

私は、一つのセッションのモデレータ役を務めた



が、冒頭で以下のように述べた。「日本は韓国より 1 年遅れて 1951 年に UNESCO 加盟を認められた。当時は未だ日本は占領下であった。UNESCO 加盟は戦後の日本が平和国家として国際社会に復帰する上で、極めて重要で象徴的なことであった」。日韓両国には、厳しい政治的対立が続いているが、私たちは UNESCO 理念に基づく交流と友情を大切にしていきたいとの思いを強くした次第である。

Innovating Energy Technology

エネルギー技術を、究める。

電気、熱エネルギー技術の革新の追求により、
エネルギーを最も効率的に利用できる製品を創り出し、
安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。

FE 富士電機

富士電機株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2(ゲートシティ大崎イーストタワー) TEL.03-5435-7111

ユネスコ活動の広場

皆さまからのお便りをお待ちしています。

9カ国の外国人と中学生の国際交流

●安中碓氷ユネスコ協会（群馬県）

市内の中学生と地域に住む外国人による「国際交流の集い」を2019年10月26日（土）に開催した。今回で29回目を迎えるこの活動は、互いの国の文化や生活習慣の違いを語り合い、相互理解、親睦を深めることを目的としている。

今回は、持続可能な開発目標（SDGs）の中から、ゴール1（貧困をなくそう）、2（飢餓をゼロに）、4（質の高い教育を皆に）、10（人や国の不平等をなくそう）、16（平和と公正をすべての人に）をテーマとした。

フィリピンなど9カ国の方々にそれぞれ自国について話していただいた。参加した中学生は、自分と同世代の世界の子どもたちを取り巻く環境に大きな差があることに驚き、世界には子どもたちのために改善しなければならない課題が山積みであることを改めて実感した。



懇親会ではフィリピンの伝統ダンスを披露していただいた

「ユネスコ世界寺子屋運動30周年記念 平和への祈り 第4回チャリティ・パーティー」

●個人会員世話人会

個人会員の有志による「平和への祈り 第4回チャリティ・パーティー」が2019年12月13日（金）に東京で開催された。今回は、駐日インド大使館臨時代理大使ラジ・クマール・スリヴァスタヴァ氏による講演「インドにおける社会改革ガンジー生誕150周年に寄せて」のほか、ソプラノ歌手の倉原佳子女史によるミニコンサートが開かれた。全国の個人会員が会して、学び、親睦を深める豊かな機会となった。なお、会費及びチャリティ・オークション収入より世界寺子屋運動に浄財が寄付された。



チャリティ・パーティーは今年も12月11日（金）に開催予定

韓国の姉妹協会と交流を深める

市民レベルでの友好の思いを胸に

●広島ユネスコ協会（広島県）

広島ユネスコ協会は、韓国ユネスコ大邱協会との姉妹協定を2000年に締結。節目の20年目となった2019年の10月に、12名の会員が大邱を訪れた。現在、日韓関係は政治面などでギクシャクする厳しい状況にある。こんなときこそ、民間ユネスコ運動として、率先して、積極的に市民レベルの友好交流を推進していかなければならない、との思いで訪問した。滞在中は、さまざまな施設や史跡、自然などを見学し、懇親会も実施。ユネスコ協会会員同士で温かみと深みのある交流となり、大邱市民とも笑顔で気軽に接しあうことができた。人と人が直接に出会い、心を通わせる交流の意義の大切さを、改めて痛感した訪問であった。



ユネスコ協会の会員同士で心の通う交流が実現した

30年以上続く子どもたちの絵画交流展

●名張ユネスコ協会（三重県）

名張ユネスコ協会では、1986年に韓国ユネスコ京畿道協会と姉妹提携を締結、同年から小中学生の絵画交流展「日韓学生絵画交流展」を実施している。昨年11月に行われた絵画展（韓国では8月に展示会を開催）でも、両国の小中学生40人ずつが描いた作品80点が展示された。名張の子どもたちの作品は、学校行事や伝統的な遊びなど日常生活に密着したものが多く、一方、韓国の子どもの作品は、両国の国旗や地球儀、手をつなぐ人など国際親善をテーマにしたものが並んだ。この絵画展を通して、小中学生の国際理解や平和を願う心が着実に育まれている。



韓国の水原市で開かれた表彰式。
名張ユ協の森川会長（左）が表彰状を贈呈した。

※韓国では「ユネスコ大邱協会」のようにユネスコが地域名の前にくる。

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

～防災・減災教育、高まる関心～

活動報告会

2月21日(金)、東京都で標記プログラムの活動報告会を開催した。今年度の助成校35校の先生方が、実践の成果として、子どもたちが主体的に体験・探究・行動する減災教育の取り組みを披露した。また、4年前に本プログラムに参加した三重県鳥羽市の先生が、その後の継続と発展の事例として同市の共通教材を作成し、市全体で取り組んでいるようすについて講話を行った。



○協力:アクサ生命保険株式会社 ○プログラム・コーディネーター:及川幸彦先生(東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター、日ユ協連理事)

減災教育 フォーラム

2月22日(土)、東京都で標記プログラムの一環として、第2回「減災教育フォーラム～減災教育を地域に広げ、未来につなげるために～」を開催した。全国から定員を超える81名の教職員等の参加があり、4月から小学校を皮切りにスタートした新しい学習指導要領との相関や、SDGs/ESDを踏まえた減災教育について学びを深めた。

- 2020年度第7回アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム 参加校募集中! (締め切り/6月10日)
募集要項はプログラムWebサイト (www.unesco.or.jp/gensai/) をご覧ください。 (企画部:上岡 あい)

「プロジェクト未来遺産2019」3プロジェクト登録決定!

地域の豊かな自然や文化を100年後の子どもたちに継承していくために、毎年、地域の市民団体が取り組む活動を「プロジェクト未来遺産」として登録している。11回目の今年度は、下記の3プロジェクトに決定した。 (企画部:青山 由仁子)



**秋田の聖農・石川理紀之助の
教えの継承と「草木谷」の環境保全活動**

団体名: NPO法人草木谷を守る会
所在地: 秋田県潟上市



**美濃流しに輪加
～地方に華咲く言葉の文化～**

団体名: 美濃市仁輪加連盟
所在地: 岐阜県美濃市



**創作組踊「糸蒲の縁(いとかまのえん)」で
地域の子とも達を育み新たな文化を繋ぐ**

団体名: 南上原組踊保存会
所在地: 沖縄県中頭郡中 城 村

未来遺産委員会委員長総評 今年は最終的に3プロジェクトが選ばれました。どのプロジェクトも、次世代へ継承するための創意工夫が見られ、高いモデル性があると実感しました。例えば、伝統を生かしながら、地域の歴史を反映した芸能の創作、新しいスタイルを取り入れた伝統芸能の継承や、環境保全だけでなく、地域の活性化も視野に入れた環境教育など、地域の文化や自然の保護を通じて、地域の発展という視点を取り入れた「プロジェクト未来遺産」が選ばれたと思います。

未来遺産委員会委員長 西村 幸夫(神戸芸術工科大学教授)

未来遺産運動は、以下の企業にご協力いただいています

- 特別協力: 東日本旅客鉄道株式会社
住友ゴム工業株式会社、ジェットスター
- 後 援: 読売新聞社、総務省、農林水産省
環境省、文化庁、観光庁
日本ユネスコ国内委員会
公益社団法人 経済同友会

理事会・評議員会報告

第533回理事会

1月18日(土) 東京都で第533回理事会を開催した。
審議結果は以下のとおり。

1. 会員の入会
維持会員入会2、個人会員入会3
2. 部会等(組織部会、財務部会、定款・諸規程改定検討部会、知と平和の文化部会、地域代表・青年代表理事会議)からの提案事項
3. 2020年度事業計画及び予算の骨子(案)
4. 財産管理運用規程の改定

審議の結果、いずれも原案どおり承認された。
また、日本ユネスコ国内委員会委員(新任地域代表委員)の当連盟評議員就任、2019年11月から2020年1月までの事業報告及び今後の日程、後援・共催事業の報告があった。

第50回評議員会

1月18日(土) 東京都で第50回評議員会を開催した。
以下の説明があり、意見交換が行われた。

1. 日本ユネスコ国内委員会委員(新任地域代表委員)の当連盟評議員就任
 2. 2019年11月から2020年1月までの事業報告及び今後の日程
 3. 部会等(組織部会、財務部会、定款・諸規程改定検討部会、知と平和の文化部会、地域代表・青年代表理事会議)からの報告
 4. 2020年度事業計画及び予算の骨子(案)
- その後、文部科学省 大臣官房総括審議官 串田俊巳氏より「学校をめぐる最近のトピック」と題し、講演があった(P5に概要を紹介)。

「誰ひとり取り残さない」世の中を実現するために

日本ユネスコ協会連盟は、国内外のさまざまな課題を解決するために、草の根の活動を続けている日本発祥のNGOです。70年以上にわたり私たちが活動を続けてこれたのは、皆さまからのご寄付、ご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

私たちが推進する教育や文化関連の活動は、成果が出るまでに、時間をかけた地道な努力が求められます。たとえばカンボジアの識字教育は、一人当たり6ヵ月の学習期間を要します。寺子屋（教育施設）を建てた地域全体に識字教育が行き渡るには、約10年かかります。世界には、貧困や学校が近くにないなどの理由から学ぶ機会を奪われ、文字の読み書きができない人がいまなお約7億5000万人います。一人でも多くの人に、明日につながる支援を届けるには、息の長い活動が必要です。

そんな私たちの活動を、継続的に支えていただく「月1・いいことプログラム」をご存じでしょうか。すでに多くの方にご参加いただいているこのプログラムについて、よくいただく質問をご紹介します。

Q 「月1・いいことプログラム」とはどのような募金方法ですか？

A クレジットカードまたはご指定の金融機関から、毎月、決まった金額を自動振替でご寄付いただく募金プログラムです。金額は寄付者ご自身で設定いただけます。継続したご寄付によって、長期的な活動にも取り組みやすくなります。

Q 途中でやめることはできますか？

A はい、できます。ご都合により月1・いいことプログラムを停止される場合は、当連盟まで電話もしくはメールでご連絡ください。

Q 寄付金控除の対象ですか？

A はい、当連盟へのご寄付は税額控除の対象です。当連盟が発行する領収書、「税額控除の証明書」を添付して税務署に申告してください。

Q 募金でどんなことが実現しますか？

A 例えば一人の方が毎月5000円のご寄付を1年間続けていただくと、カンボジアでは20人が6ヵ月の識字教育プログラムを受けられます。20人の方による毎月1000円のご寄付（1年間）では、被災地の子ども一人に1年間の奨学金を届けられます。一人でも多くの子どもたちが将来の夢を描けるよう、皆さまのご協力が必要です。



お申し込みはホームページまたは専用申込書からお願いします。
（専用申込書は郵送でお届けします）

まずは資料を読みたいという場合にも、お気軽にご連絡ください。
活動についてもっと詳しく知りたいという方には、活動レポートもお送りします。

月1・いいことプログラムのお申し込み、パンフレットのご請求は

日本ユネスコ協会連盟

TEL：03-5424-1121（受付時間 平日10：00～17：00）

メール：bokin@unesco.or.jp ※件名に「月1いいことパンフレット希望」とご入力ください。

<https://www.unesco.or.jp/support/donate/monthly/>



月1・いいことプログラムのパンフレットもご用意しています。▲

お知らせ

首里城復興ユネスコ募金のご報告



2019年10月31日に焼失した首里城の復興を願い、翌11月1日より「首里城復興ユネスコ募金」を呼びかけています。全国の皆さまからご支援いただき、心より御礼申し上げます。開始からおよそ4カ月の3月5日現在、お寄せいただいた募金は、3239万9448円に達しています。引き続き皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



大橋名誉会長が自らの半生を語る

日本ユネスコ協会連盟の大橋洋治名誉会長の新しい本が刊行されました。本書は、2017年に日本経済新聞に連載された「私の履歴書」を土台としています。当時はまだ日ユ協連会長として活動がこれからという段階で、ユネスコ活動には触れておられませんが、大橋名誉会長とユネスコとの関連の深さが伺えます。日本ユネスコ国内委員会委員を務めた経験を経て、2013年からはANAがUNESCO公式サポーターとなり、マイレージによる寄付も推進されました。2015年には日ユ協連副会長、2017年には会長に就任され、現在は名誉会長を務めていただいています。本書は、「心の中に平和の砦を」というUNESCOの理念に深く心動かされた背景として、幼少期を過ごされた旧満州での経験に触れています。ぜひ一読を。



「大空に夢を求めて 私の履歴書」
大橋洋治 日本経済新聞出版社 / 1760円(税込)
(理事長：鈴木 佑司)

メールマガジンにご登録ください！

日ユ協連の最新の活動をコンパクトにお届けするメルマガにぜひご登録を。日ユ協連ホームページのトップページからお申し込みいただけます。

<https://www.unesco.or.jp/>



パソコン・スマホでも読みやすい WEB版機関誌ユネスコが誕生！

日ユ協連で発行している機関誌「ユネスコ」に、パソコンやスマートフォンでも読みやすい「WEB版 機関誌ユネスコ」が誕生しました。以下のURLから、または当連盟ホームページのトップページ右上「WEB版機関誌ユネスコ」をクリックするとお読みいただけます。ぜひご覧ください。



<https://www.unesco.or.jp/magazine/>

募集

第76回 日本ユネスコ運動全国大会 in 宇部 参加者募集

日 時：2020年7月4日(土)

場 所：ANAクラウンプラザホテル宇部

テーマ：持続可能な地域が世界を変える～SDGs 未来都市からの発信～

主 催：日ユ協連、山口県ユ連、宇部ユ協
応募締め切り：5月8日(金)
※開催要項は日ユ協連のホームページに掲載しています。<https://www.unesco.or.jp/newsitem/5946>
※2020年度から、全国大会は原則1日開催、ブロックの輪番制が採用され、今年度は中国ブロックが担当します。
■問合せ：事業部 (03-5424-1121) まで



第7回 高校生カンボジアスタディツアー

今年の夏も、公益財団法人かめのり財団との共催で標記ツアーを開催予定です。対象は、全国のユネスコ協会会長推薦、またはユネスコスクール校長推薦を受けた高校生。国際協力に高い関心を持ち、教育・文化の観点から現地の課題を積極的に学び、自発的に行動できる生徒を募集します。詳細は日ユ協連ホームページをご覧ください。

今後の 主催事業 日程	2020	5月16日	第535回理事会、第51回評議員会
		6月13日	第536回理事会、第71回総会
		7月 4日	第76回全国大会 in 宇部
		9月12日	第537回理事会
		11月14日	第538回理事会、第52回評議員会

TBS

世界遺産 THE WORLD HERITAGE

世界遺産

毎週日曜日午後6時よりTBS系列で放送中

4月～6月ラインナップ

4月 5日	アルダブラ環礁Ⅰ (セーシェル共和国)
4月12日	アルダブラ環礁Ⅱ (セーシェル共和国)
4月19日	セラード保護地域群 (ブラジル)
4月26日	ペトラ (ヨルダン)
5月 3日	放送休止
5月10日	古代都市シーギリヤ (スリランカ)
5月17日	ハロン湾 (ベトナム)
5月24日	シュンドルボン (バングラディッシュ)
5月31日	ニンガルー・コースト (オーストラリア)
6月 7日	グランカナリアの文化的景観 (スペイン)
6月14日	カナディアンロッキー (カナダ)
6月21日	奇岩が生んだ！驚きの絶景と文化
6月28日	ヴィルヘルムスヘーエ公園 (ドイツ)

放送予定は変更される事もありますのでご了承ください。

<https://www.tbs.co.jp/heritage/>